

糖尿病の皆様へ

糖尿病は、すぐに命に係わる病気ではありませんが、血糖コントロールの悪い状態が長年続くと全身の血管がもろくなり、網膜症や腎臓障害、神経障害などの合併症を引き起こし、日常生活に大きな支障をきたす病気です。しかし、糖尿病は自覚症状のない病気であるため、知らないうちに病気が悪化していることが少なくありません。そうならないためには、かかりつけ医によるきめ細やかな診察と検査を定期的に受けることがとても大切ですし、これが糖尿病合併症の早期発見にもつながります。

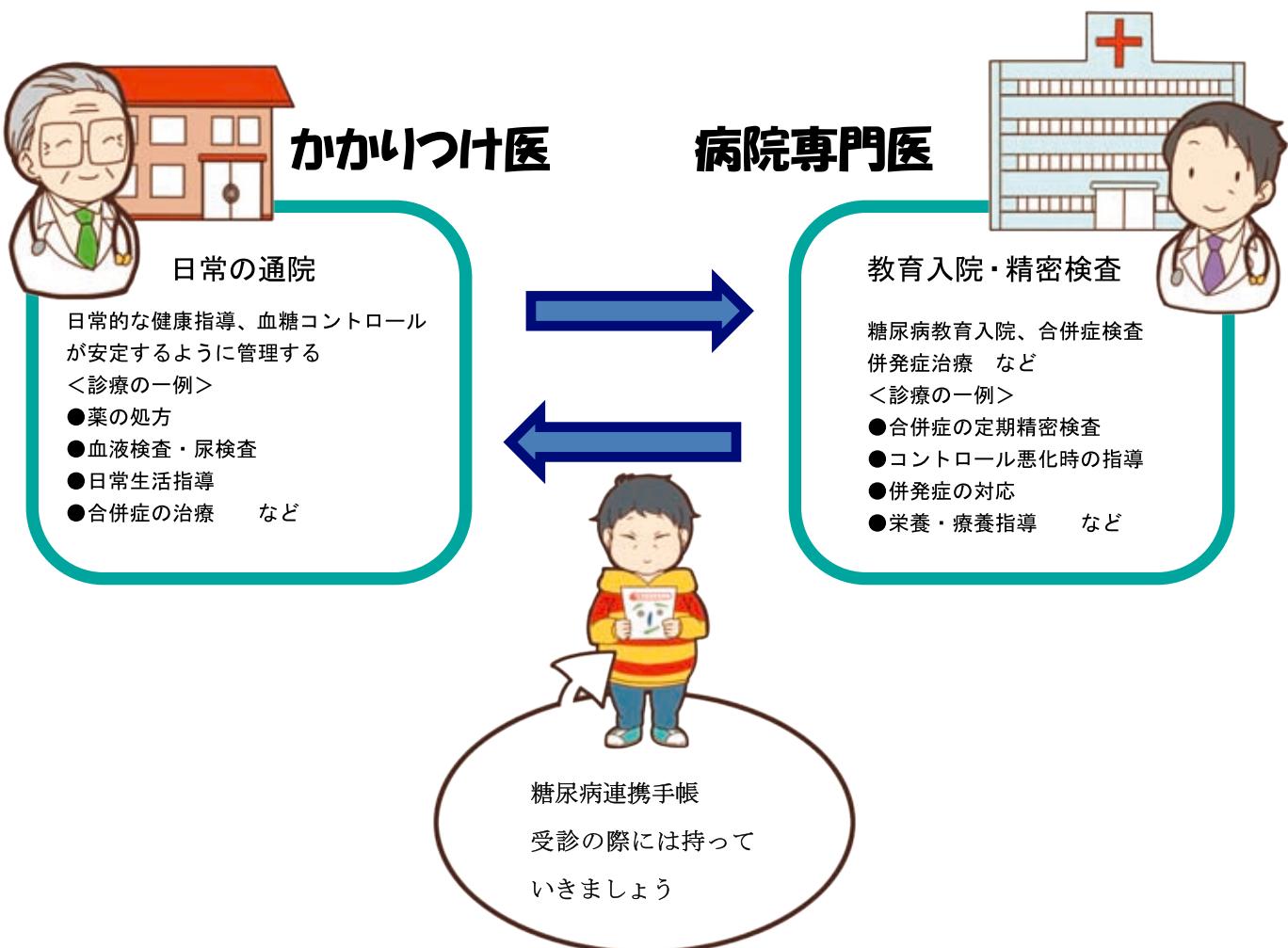
「糖尿病地域連携パス」は、複数の医療機関が患者さんの情報を共有し、お互い協力して糖尿病治療をサポートしていくものです。患者さんには、検査データや治療内容を診察のたびに記入していく「糖尿病連携手帳」をお渡しますので、受診の際には必ず持参して担当医に提示してください。

- 1) 糖尿病地域連携パスとは、「かかりつけ医」と「病院」や「関係医療機関」が連携し、質の高い糖尿病診療を行う仕組みを指します。
- 2) 「かかりつけ医」は、糖尿病と初めて診断された患者さんや、治療を続けても高血糖 (HbA1c 8.4%以上) が改善されない患者さんを「病院」に紹介します。「病院」は糖尿病教育、合併症精査、今後の治療方針の決定などを行い、その結果を「かかりつけ医」に通知します。
- 3) 以後患者さんは「かかりつけ医」で毎月の診察、検査（血糖や HbA1c など）や投薬を受け、「病院」や「眼科医院」等で一定の間隔（半年～1年）で栄養指導や糖尿病教育、合併症の精査などを受けます。
- 4) 「かかりつけ医」は、血糖コントロールが悪化した時や、その他必要があると認められた場合には、決められた期日を待たず「病院」での診察を勧めることができます。
- 5) 糖尿病連携手帳は、患者さんが糖尿病地域連携パスに従い、円滑に質の高い糖尿病診療を受けられるよう作成されたものです。「かかりつけ医」や「病院」「かかりつけ眼科医」「かかりつけ歯科医」を受診する際には必ず持参し、担当者に検査データや指導内容の記入をしてもらってきてください。その際、すべての処方薬の内容がわかるお薬手帳も一緒に持参しましょう。

糖尿病の皆様へ

糖尿病と上手につきあうための

糖尿病地域連携パス



眼科



歯科



栄養士



薬局



地域連携パスのメリット

- 病院専門医とかかりつけ医、かかりつけ歯科医、薬局とがつながっています
- 患者様が近くの「かかりつけ医」と「病院専門医」等へ通院しやすい環境づくりを提供し、良好なコントロールと合併症の抑制を目指します
- 治療の流れが理解でき、安心です
- 通院の負担が軽減されます など